

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)	良く なっている	その他専門店 〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・気温が下がり、ブーツの動きが出てきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗客からは不景気な話は聞かない。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月は3連休が2回もあったので、観光地はもとより市の中心部でも人出が多くなっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・客単価が上昇しており、前年と比べると100円程度増加した状態で推移している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・来客数は震災以来の平均的水準であるが、客単価が上がったため、月間売上は前年同月比、3か月前比のいずれも上昇している。特に職業に就いている客層から、購買意欲が高い印象を受ける。来客数が増えているのは当店の営業上の問題とし、客観的な判断として景気は改善傾向にあると考える。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・今月は大口の布団注文と新築のお宅のカーテンの注文が数件入っている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温の低下とともに紳士、婦人、子供の秋物衣料が順調に動き始めている。高額商品は引き続き好調であるが、今月については、プロ野球球団の優勝セールなどの営業施策が更にプラス効果となっている。
		百貨店（売場担当）	それ以外	・今年の9月は比較的残暑の影響を受けることなく、涼しい秋の陽気のなか秋物が好調に推移している。客は今シーズンのトレンドといえるスカートやドレスに合わせてコーディネートするため、タンス在庫にない物を購入するといった買い方をしている。今秋のファッションの流れならではの売り方をしたことで客が買うものが変わり、売上が伸長している。また、セールの売上も大きく伸ばし、全体をけん引している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・当県では復興需要がうかがえる。白物家電は堅実に伸びており、前年をクリアしている。テレビは夏前あたりから徐々に持ち直してきている。4Kテレビの需要も出てきており、単価の高いものが売れ出しているなど、テレビの回復が著しい。また、今月発売になった米国大手の新型スマートフォンの需要がおう盛で、売上に寄与している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年9月のエコカー補助金の終了、そして、本年の年央から相次いだ新型エコカー投入に引かれ、来客数も上向きになっている。また、客の感触も良く、徐々に前年越えの販売実績となりそうである。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税率が上がるのではないかとということで、先行で発注が増えている。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・政府が来年に消費税を8%にするという報道後、客の動きが活発になっている。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・消費税増税の論調が強くなってきている影響か、どうせ買うなら増税前にとという方が増えてきているようである。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・普段の当市は8月第4週の大曲の花火大会が終わると一気に冷え込むのが常であるが、デスティネーションキャンペーンを間近に控えて、客が動いている様子が手に取るように分かる。宿泊の稼働率も高稼働のまま推移しているので、秋の各種大会があるにせよ、旅行客も増加していると判断される。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・個人旅行を中心に、今までよりも落ち着き感がある。徐々に良くなっているような様子が見受けられる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新商品が好調で在庫が追いつかない状況である。客からの引き合いも多く、当面は好調である。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・夏の好況を継続して、高単価を維持している。前年同時期と比較しても106%の高い水準で推移している。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・受注単価の伸びにより、販売高が前年と比べ2割ほど伸びている。		
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税が現実化しつつあり、9月中の駆け込み受注が止まらない。		

	その他住宅 [リフォーム] (従業員)	来客数の動き	・今月の受付件数が予算を達成している。また、前年同期の実績も超過している。
変わらない	商店街 (代表者)	販売量の動き	・イベント等が毎週のように実施されているが、各店の実績には反映されていない。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・観光客及び来街者は横ばいから増加傾向になっているが、何よりも天候によるものが大きく、9月に入り雨の日が多いため、当商店街への来街者数、買物客数は減少している状況である。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・商店街では震災で痛んだ建物の解体が進んでいるが、新築せず空き地になっており、店数が減っている。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・夏の猛暑、そして大雨被害と気候の急変から、生鮮商品の品薄感が価格に影響しやや買い控え傾向にある。また、秋野菜、キノコ、サンマ等の入荷が例年より遅くなっている。なお、最近めっきり秋めいて冬物婦人服が動き出している。
	一般小売店 [書籍] (経営者)	来客数の動き	・この2か月間、台風やゲリラ豪雨といった事象が続いている。そのため、消費マインドが冷え込んでいるのか、落ち着いているのかよくわからないが、全体的にムードが良くない。
	一般小売店 [医薬品] (経営者)	お客様の様子	・地元プロ野球球団の優勝のニュースが流れ、街自体が一時的ににぎやかになるかと思ったが、3か月前と何も変わらない。デパートのみは安売りをしているので人が出てると人々が言っている。
	一般小売店 [カメラ] (店長)	販売量の動き	・高額商品の動きは秋の紅葉撮影のための購入などでやや上向きで推移しているものの、低価格品はスマートフォンの影響で激減している。
	百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・衣料品については、前年の数字をクリアできる見通しで購買意欲に低下は見られない。宝飾品、時計を中心に堅調な動きを見せている。一方で、食器はここ数か月前年を下回っている。総体的には、売上は順調といえる。消費税増税前の駆け込みの動きはまだ見られない。
	百貨店 (買付担当)	販売量の動き	・可処分所得が増えないなか、消費税増税なども控えており、必要なもの以外は購入しない傾向にある。
	百貨店 (経営者)	お客様の様子	・初秋物は堅調に推移している。ただし、例年に比べ残暑がなく、気温も低く夏物衣料が全く売れないため、トータルでは10%位下回る見込みである。寿司、米飯などは好調だが、原発汚染水問題の報道で鮮魚が特に厳しく、近隣の果実、野菜、精肉など厳しい状況が続いている。
	百貨店 (経営者)	販売量の動き	・小売業へ景気の回復効果が波及しているのは、一部の高額所得者だけである。一般の客は、給与の上昇がなければ財布のひもは硬い。
	スーパー (経営者)	単価の動き	・来客数は安定している。野菜、肉の単価は上がっているが、加工食品などは下がっている。
	スーパー (経営者)	単価の動き	・9月の既存店1品単価は前年比101%と若干上回ったが、来客数の前年割れが続き、客単価の上昇で売上を維持した形である。買上点数も前年並みで推移している。消費の傾向は変わっていない。
	スーパー (経営者)	お客様の様子	・9月からの電気料金の値上げやガソリン価格等の高止まりにより、客の節約、儉約志向は変わっていない。
	スーパー (店長)	販売量の動き	・台風などの天候異常により、野菜相場が高騰している。また、海水温が高いため、旬のサンマの入荷が減少し、高値である。また、公共料金の値上げ等マイナス要素が多すぎて、販売数に影響が出ている。
	スーパー (店長)	お客様の様子	・来客数も変わっていない。
スーパー (物流担当)	単価の動き	・買上点数は上がってきているものの、買上単価の下げは止まらない。競合店との価格競争は更に激しくなってきている。	
コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・特に外的要因もないが、来客数が前年比マイナスとなっている。	
コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・前年は猛暑だったこともあり、来客数が前年を大きく下回っている。	
コンビニ (店長)	販売量の動き	・競合店の出店等により、価格競争が一層激化している。	

衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 9月に入って気温の低下とともに顧客を中心に来客数も増えている。また、8月の暑さで出遅れていた秋物の動きが良くなり、売上も前年を上回っている。
衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・ 仕入価格の上昇が販売価格になかなか反映されない現状である。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・ 相変わらず客足が遠い。
衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・ ここにきてやっと秋らしくなってきたものの、朝晩は寒くなっても日中は暖かいので秋物のスタートダッシュが鈍く、なかなか売上に繋がらない。
衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・ 前年よりも秋らしい気候となり、カジュアル衣料を中心に立ち上がりを見せているが、単価が稼げるビジネス衣料の立ち上がりが遅れている。
衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・ シーズンの端境期になるが、来客数、買上点数の減少が見られる。消費者の購買動向からは景気の回復はうかがえない。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・ 集客数は増えていないが、客単価が上がってきている。売上は横ばい状態である。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・ 来客数が回復せず、前年割れが続いている。消費するものに魅力がないことも一部あると思うが、スマートフォンだけは好調に推移している。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・ 発売された新型車の動きが現状で予想をやや下回っており、巻き返しが必要である。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・ 新型車が出たので、客の動きも前月などに比べて多少良くなっている。
その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・ 店頭での売上は一進一退といったところだが、飲食店の明暗がはっきりしている。常連客がしっかりと入っているところもあれば、閉店まで追い込まれるところも出てきている。景況は横ばいだが、厳しい状況には変わらない。
その他専門店 [パソコン] (経営者)	競争相手の様子	・ 業者間でも、今までとほとんど変化がないといった話をしている。今週良ければ、来週は見込みがないといったような状況が聞かれる。
その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・ 今月は三連休が2回あり、県外からの観光客も増えるため、それなりに期待したが、台風などの影響を大きく受けたために売上もさほど大きく伸びなかった。逆に連休があるからと余計に買い控えをする消費者が目立ち、なんとか横ばいの状態が続いている。
その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	販売量の動き	・ マスコミではさも景気が上昇しているような報道があるが、実際は何も変わらない。それよりも先行きの不安の方が先に立ち、購買には結び付かない。被災地への人口流出による就労人口の減少、日中の人口の減少など、人口が減ることによる経済へのダメージが大きい。
その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・ 暖房用の燃料の販売は前年比100%前後で推移している。しかし、除染事業や解体工事、新築等で今まで順調であった軽油販売の需要が一段落している。そのため、販売全体からすると低調となっている。原油価格が上がっていることによる需要抑制効果が出てきている。
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	来客数の動き	・ 来客数の伸び悩みがある。台風や大雨の影響での外出が控えられた影響は大きい。9月は稲刈りのシーズンであり、家族総出での作業のためか、主要購買層である30~60代の客層は少ないように見受けられる。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ まだまだ景気は停滞している。連休があればそちらでお金を使い、その分平日は冷え込む。レジャーのお金の使い道も、レストランよりは近場で気軽に楽しむのを選択することが多いようである。レストラン業としては低調な状態が続いている。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ トータルの売上は変わらないが、3か月前同様、忙しい時と暇な時の差が大きい。
観光型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・ 3連休が2度もあり、本来なら集客単価も上がらないといけない月であったが、団体客が減り個人旅行が増えたために集客も悪く、総体的な売上増には至っていない。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・ 予約動向に特段の変化は見られない。
観光型旅館(スタッフ)	単価の動き	・ 相変わらず安くしないと売れず、来客数の伸びに売上がついてこない状況が続いている。

都市型ホテル (スタッフ)	競争相手の様子	・宿泊、レストラン部門は低迷が続いている。宿泊に関しては、全国チェーンのビジネスホテルは高稼働を維持しているようだが、同料金並に設定をしても、客層が変わるだけで稼働率に変化はない。ネームバリューも関係あるのかもしれない。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・食材、ワイン等の値上がりに伴い、料金設定を変更した。相変わらず婚礼による売上は悪いが、法要の受注により前年並みにはなっている。	
旅行代理店(店 長)	お客様の様子	・客の商業活動に特に大きな変化が見られないが、変わらず堅調である。	
タクシー運転手	来客数の動き	・上旬が非常に厳しく乗客が少なかった。後半になってもばん回ができず、結果的に前年を割っている。	
通信会社(営業 担当)	単価の動き	・3か月前と変わらない。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・株価は上がっているが、景気が向上しているのは一部企業だけである。客の様子を見ていても景気が向上しているようには見えない。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲等について、あまり変化が見られない。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客との商談からは、依然好況感はうかがえない。消費税増税という不安要素もあり、本格的な内需拡大にはほど遠い状況である。	
通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・客への特典を大きく変えていないことも影響しているとみられるが、生活必需品としての優先度が低いいためか、新規の加入申込者、解約者共にここ3か月ほぼ同数で推移している。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・顧客訪問時のヒアリングからは、特に変化はうかがえない。	
観光名所(職 員)	販売量の動き	・来客数は減っているが、販売量及び客単価は増加しており、売上は前年並みを保っている。	
観光名所(職 員)	来客数の動き	・前半の3連休は台風の影響で極端に来客数が少なかった。後半の3連休は天候に恵まれ、前年に若干届かない程度まで回復したが、月全体では前年より悪化しそうである。	
美容室(経営 者)	来客数の動き	・客の来店サイクルの幅が大きくなっている。	
設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・今まで図面を作成した物件はほとんどが施工に掛かっており、次の物件が出てくるまでの一休みの状態である。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・社用の動きが止まっている。目先の復興需要は大体終わってしまったようである。
	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・来客数が低迷している。月末に上顧客に対しての訴求を行い売上を戻したが、月を通して一般客の来店が少なく、全体的な盛り上がりには欠けている。
	百貨店(総務担 当)	販売量の動き	・3か月前と比べ、アベノミクス効果といった全体の景況感がやや鈍ってきている。足元の商況もそれほど高い伸び率が見えていない。
	百貨店(経営 者)	お客様の様子	・秋物季節商材の動きが悪く、前年を割っている状況である。特に、衣料品の動きが悪い。気温の影響の他にガソリン価格高等の影響もあるようである。
	スーパー(店 長)	来客数の動き	・競合状況が厳しくなっているなか、来客数は前期を下回っている。客単価、買上点数、1品単価いずれもほぼ100.0%で推移しているが、全体ではマイナス傾向にある。
	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・前月に引き続き来客数が減少し、売上も伸び悩んでいる。特に夜間の来客数の減少が目立つ。また、週末の動向が思わしくなく、売上のマイナスに繋がっている。
	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・来客数のダウントレンドが続いているが、特に客単価の高い夕方の来客数が減少しており苦戦している。
	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・前年の記録的残暑の裏年のため、飲料やアイスの落ち込みが大きい。来客数への影響も顕著に表れている。
	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・前年が猛暑であった分、来客数で徐々に前年を大きく下回っている。
	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・前年に比べ気温も低く、県全体で来客数及び売上が下がっている。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・クールビズが継続しているので、スーツはそんなに売れていない。今のところ、単価の動きはそうでもないが、来客数の動きがまだ多少鈍く苦戦している。

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・前月までに比べ、来客数と新車の受注台数が減ってきている。これまで台数をけん引していた新型軽自動車の販売に陰りが見えてきた。	
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・前年同月比が依然として回復できない。販売促進費を増額してもセール終了後に落ち込むために、対策が取れない。	
	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・ここ2、3か月、来客数が少なくなっている。	
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・今月はお彼岸を挟んだ月なので、仏具関係の売上増加を見込んでいたが、来客数が少なく、販売に結び付いていない。	
	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・復興需要のなかだるみなのか、それとも何に原因があるのかわからないが、7月半ばごろから急に悪くなって、8月も非常に悪かった。9月も好転する見込みがなく、非常に危惧している。世の中の景気は良いといわれているが、私どもの会社もしくは業界は良くない。	
	高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・地元プロ野球球団の優勝も、7年後のオリンピックも、個々人の収入が増えなければ、なんの意味も持たない。	
	高級レストラン (支配人)	お客様の様子	・夏の終わりとともに、次の計画に向けた一休み感があり、近々の予約状況は減退している。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は連休もあり確かに週末は良かったが、その分平日はいつも以上に悪く、平たくすると来客数、販売量共に例年よりもやや悪くなっている。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・芋煮会などの需要が、店舗型から自分たちでやるスタイルに変わってきているためか、週末になると各自川原等で芋煮会をしているようで、店への予約が減っている。また、消費税率の上昇を気にしている人もいるようである。	
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・今月は3連休が2回も続いたが、団体客はほとんどなく、個人客でカバーしている。宿泊客数はもちろん館内の消費額も伸びず、全店の売上が大幅にダウンしている。	
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・デパート地下の総菜については、一時の低迷から脱却している。お手ごろ感のある商品開発に取り組んだ結果である。ただし、ホテル内のレストランについては単価が下落している。商品別においても傾向がはっきりしているので、魅力ある商品の作成が急務である。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前年、前々年より被災地で、震災特需による入込が続いていたが、特需はほぼ止まり、来客数、宴会数共に震災前の状況に戻っている。今月、来月の先行予約も前年を下回っている。	
	タクシー運転手	単価の動き	・客も消費税増税を気にしていて、極力単価が安い方に動いているように見える。	
	通信会社(営業担当)	来客数の動き	・スマートフォンの売行きが今一つ伸び悩んでいる。米国大手の新型スマートフォンが発売になったが、値段が高いこともあり、従来の機種への変更を検討している客も多く、思ったよりは動いていない。	
	遊園地(経営者)	来客数の動き	・残暑はなかったものの、敬老の日3連休が台風で大きく落ち込み、前年比10%下回る見通しである。まだ消費の力強さはうかがえない。	
	美容室(経営者)	お客様の様子	・婚礼シーズンに入っても、式場で結婚式を挙げるケースが減ってきたようで、我々美容師、着付け師の出番もなくなりつつある。結婚式にお金をかけず、その分実生活に回そうとする若者が多くなったからのものである。それだけ余裕がなくなってきたということではないか。	
	悪くなっている	コンビニ(経営者)	単価の動き	・客の動きをみると、衝動買いがなくなり、目的買いが主になってきている。そういう面では大変厳しくなっている。
		自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・例年9月は売上が戻るがそれが見られず、前年に比べて売上が落ちている。消耗部品の出もすこぶる悪い。
企業 動向 関連 (東北)	良くなっている やや良くなっている			
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・大きなイベントもあり、売上は前年をクリアしている。	
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・わずかではあるが販売量が前年を上回っている。主原材料も想定価格より下がるようである。	

	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・本年度上半期で国・地方自治体から発注された公共工事において、受注者が確定してきている。	
	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税に絡んで受注量が増えている。	
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化はないが、なんとなく良い方向に行っているようである。	
変わらない	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農協からももの精算書が届いたが、販売単価が低く原発事故前の8割程度であった。品質的には問題はなかったが、風評被害がまだ払しょくされていないためとみられる。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・牛タンは全国的にも人気だが、特に東京駅周辺の売店で結構な人気がある。その売上が全体的に大きく寄与し、前年比で数パーセントの伸びを示している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車部品は国内、輸出向け共に比較的好調に推移しており、計画を上回る水準で動いている。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・このところ、受注価格、販売価格が安定しており、大きな変化がない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税を見越した駆け込み需要が続いているが、施工能力がいっぱいである。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客により反応は異なるが、提案の仕方によっては好反応を示す顧客が現れ始めている。	
	通信業（営業担当）	競争相手の様子	・スマートフォン需要が上向いてきており、顧客単価が上昇しつつあるが、競合他社との競争が激化しており、販促コストも増えてきている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の様子を見ても変わっていない。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・デスティネーションキャンペーンの影響からにぎわいが出てきている。メガソーラー関連は引き続き好調である。	
	広告業協会（役員）	それ以外	・地元プロ野球球団優勝セールに期待をしていたが、球団側から優勝セールに関していろいろ規制がかかり、商工業会挙げてのお祝いムードが盛り上がっていない。マスコミも困惑の状態にある。通信業界の新商品発売で少しはにぎわったがその後は続かない。	
	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・デスティネーションキャンペーン等の観光関係は多少動きがあるものの、全体的に価格の競争は激化している。ある銀行からはすべてのチラシ、リーフ等の再見積の提出を求められており、受注価格の下落は必至である。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・建設業では新築、リフォーム共に忙しいことに変化はないが、受注単価はダウントレンドに入った感がある。	
	公認会計士	取引先の様子	・建設業関係は利益を出している会社が多いが、それ以外の業種では概ね前年同月を維持、あるいは減少している会社が見受けられる。	
	やや悪くなっている	コピーサービス業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間企業は特に大口の案件も無い。また、通常の小口の商売も現状維持を続けている状況である。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の話を見ると、特売商品はよく動くが、定番商品の動きが以前よりかなり悪くなっているとのことである。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月、前々月から引き続き、良い水準で出荷が動いている。特に今月は3連休が多く、旅行客が多かったことの効果か、JR駅内の売店、空港ビルの店舗などからの受注に大きな伸びがある。
その他企業〔企画業〕（経営者）		取引先の様子	・広告宣伝用チラシの単価引き下げを要請されてきたが、その波が一段と強まってきた。需要はある程度あるが利益に繋がりにくい。	
その他企業〔工場施設管理〕（従業員）		取引先の様子	・顧客訪問等は増えて、物流も若干増加傾向にあるが、緊縮は継続中である。	
農林水産業（従業者）		受注価格や販売価格の動き	・米の余剰在庫により、25年産米の買取価格が低下している。	
食料品製造業（営業担当）		受注量や販売量の動き	・売上量及び売上高の前年割れ状態が続いている。	
繊維工業（経営者）		取引先の様子	・周りでは景気が良くなっているといわれているが、自社の取引先では、百貨店、専門店等での売行きが良くないようである。	
木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需給バランスが崩れてきており、商品価格の低下によって収益が悪化しつつある。		

	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・前年に比べて発注が若干鈍くなっている。	
	出版・印刷・同 関連産業（経理 担当）	受注量や販売量 の動き	・受注残の前年割れが7月から約3か月続いている。 だいたい5～10%の落ち込みとなっている。	
	土石製品製造販 売（従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・大雨による水害の復旧作業に加え、台風による建物 被害、道路の修復工事が次々とあり、終わりが無い。 電気料金や燃料の高騰から、発注先に受注価格の値上 げを提示するも、合意が得られず契約に至らないケー スが多い。	
	電気機械器具製 造業（営業担 当）	取引先の様子	・受注減による操業の縮小や停止が見受けられる。	
	悪く なっている	-	-	
雇用 関連	良く なっている	-	-	
(東北)	やや良く なっている	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・メーカー系を中心に、多少求人が伸び始めている。 加えて、地元プロ野球球団のリーグ優勝が決まり、流 通の大型セールが始まった。この高揚感が景気に上向 き感を与えられることを期待している。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の申込件数が増えている。しかも正社員募 集も増加している。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・地元テレビ各局の売上は前年を超えている。また、 地元の新聞は前年並みだが、東京、大阪では苦戦して いる。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人は建設、製造、医療福祉、サービス業を中心に 増加している。求人は3か月ごとに更新されるが、3 か月前は前年同月を下回っていたが、今月8月分につ いては前年同月を上回っている。ようやく地方にも景 気回復の兆しが表れている。
変わらない		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・新卒採用と中途採用共に、外食産業、小売、ア ミューズメント、そういった業種が相変わらず採用し にくい状況が続いている。
		アウトソーシ ング企業（社員）	それ以外	・忙しいが、例年と大きく変わる忙しさではない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増加が続いているもの の、増加幅が小さくなってきている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人は業種にはばらつきがあり、若干の増減は あるものの、引き続き高水準で推移している。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人総数が増加しており、有効求人倍率も好転 しているが、依然として業種による温度差が目立っ ている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と1か月前を比較してもほぼ 同数である。3か月前と変わらない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は若干減少したものの、相変わらず高水 準で推移している。
やや悪く なっている	人材派遣会社 （社員）	それ以外	・登録者不足の深刻化に加え、登録者は複数派遣会社 に重複登録しているのが常態であるため、派遣会社同 士の競争が激化していることにより、成約率が低下し 20%を割り込んでいる。	
	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・アベノミクスは小売業と消費者には恩恵がなく、消 費税増税などの不安から飲食及びサービス系商店は求 人募集に対して消極的になっている。	
	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・生活関連サービス業、飲料製造業、運輸業におい て、自己破産、工場閉鎖、希望退職者募集等の雇用調 整が見受けられる。	
	悪く なっている	-	-	